

平成 26 年 6 月 23 日

報 告 書

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

那須塩原市議会 第 3 班 班 長 齋藤 寿一
記録者 植木 弘行
相馬 剛

下記のとおり報告会を開催いたしましたので、報告します。

記

1. 日 時 平成 26 年 5 月 12 日（月）午後 6 時 30 分～8 時 05 分

2. 会 場 ハロープラザ

3. 担当議員と役割

【担当議員】

齋藤 寿一 （班長）
中村 芳隆 （副班長）
松田 寛人 （司会者）
平山 啓子 （定例議会審議報告）
大野 恭男 （議会活性化検討特別委員会活動報告）
山本 はるひ （放射能対策検討特別委員会活動報告）
植木 弘行 （記録）
相馬 剛 （記録）

【応援議員】

齋藤 誠之、高久 好一、眞壁 俊郎、玉野 宏

4. 参 加 者 市民 8 名（男性 7 名、女性 1 名）

5. 主な意見・要望

質疑応答

<議会活性化検討特別委員会報告について>

Q：何をもって議会が活性化されたと評価するか。

A：市民に信頼される議会にすることがこの特別委員会の目的です。

Q：議会倫理条例は、作らなくても当たり前のことではないか。

A：さらなる信頼を、ということで理解いただきたい。

<放射能対策検討特別委員会報告について>

Q：これまでの除染の進行にお礼申し上げます。

Q：グラウンドの除染は早めにやってもらったが、緑地のほうはまだ高いところがあり、部活動や休み時間に腰掛ける子どもがいるため、こちらの除染も進めてもらいたい。

Q：心配なのは、関谷・下田野地区には諦めている人がおり、農家でも野菜や米を買って食べていたり、子どもを外に出さない人もいる。

Q：除染をやってもらったが、子どもがいない家は雨どいの下しかやってもられないので、庭はまだ 0.5 から 0.6 ある。一部の家庭では、学校後の孫を預かる家庭もあるので、除染はまだ十分ではないと思う。市に予算がない、国からの予算がつかないということがあっても、国・県に要望してほしい。

Q：公園の除染については、芝刈りをやってもらったが、0.4 までしか下がらない。一度やったところはもうできないようだが、これも国・県に要望してほしい。

A：要望として承ります。

意見交換

Q：議会の役割に、執行機関を監視するための所管事務調査とあるが、具体的に何をするのか。

A：他市に出向いて調査をし、本市に提言する。

Q：執行機関を監視・評価し、執行機関の独走をチェックするとあるが、実際の例はあるか。

A：執行部より議会に提出された案件を審査し、可否を決定する。

Q：行政から上がってこなければチェックはできないということか。

A：監査は、議員の中から 1 人選んで、行政監査と予算監査を行っている。

Q：一市民が、税金が不正に使われている案件を申し立てるにはどういう方

法がよいか。

A：住民監査請求を提出するのが一番の道筋ではないか。住民監査請求は、監査委員会に出すもの。

Q：教育予算は、全予算の14～15%が理想と言われているが、26年度予算では10.8%と少ないように思う。福祉教育委員会でどんなことが話されたか。

A：480億円の予算には除染費用が53億円含まれている。11万7千人の人口だと一般予算は400億円くらいがふさわしいと言われるが、そういう意味で教育費の比率が若干下がっているのが現実。

Q：観光協会等への補助金はどうなっているのか。

A：全体的な予算の見直しによって、観光関係の予算も若干カットされてきたのが現状。しかし、インバウンドで海外誘客にも力を入れているし、木下審議監をお呼びして観光戦略を専門に、首都圏を中心に打っており、その効果も出てきております。また温泉活性化委員会に予算があります。また、JRとの提携で、板室・塩原温泉の観光宣伝も少額で入れていただいています。

Q：合併10周年になるようだが、市民の合併後の意識調査をして、良かった点や改善点を執行部に報告し、市の発展に努力してもらえればありがたい。

A：10周年ということで、市でもいろいろ考えがあるようなので、またご意見をいただきたいと思います。

Q：風疹の予防接種を、女性だけでなく、子ども持とうとする年代の男性にも国の責任で打つようにすべきではないか。

A：そういうことを国・県に要望していきたいと思います。

6. 報告会の運営について

<良かった点>

- ・パワーポイントを使っただけの説明がわかりやすくて良かった。
- ・事前準備や会場設営がスムーズにできた。
- ・報告会の進行も混乱なくスムーズだった。

<反省点>

- ・答弁する議員側の勉強がもっと必要ではないか。
- ・市民の参加者が少なかった。次はもっと参加してもらえようようにしたい。

- ・参加する市民が一定の人になっている。
- ・夕方時間帯のみで、主婦や女性が参加しづらい。
- ・時期的に話題性が乏しかった。
- ・まだ事務局に頼る部分が多い。

<今後の反省点>

- ・15会場終わったので、抜本的な見直しが必要。
- ・主婦や女性が来られる時間帯を考慮してはどうか。
- ・もう少し市民に向けたPRが必要。
- ・話題性や市民の興味のある内容を考えてはどうか。
- ・議会を理解してもらう目的であれば、今のやり方ではなく、テーブルを囲んだ意見交換会のような方法が良い。
- ・人が来るかより、何をやればいいかを考えるべき。
- ・大きな会場2か所くらいにしてはどうか。
- ・市民の要望をむりやり集めなくてもよいのではないか。
- ・市民に対して何ができるかではなく、市民とどう関わるかをもう一度考えてはどうか。
- ・広報広聴委員会を立ち上げ、市民の意思を吸い上げやすくする。